

安心・安全な野菜を
多くの方に届けたい



中村自然農園

所在地：山口市平井880-1 TEL：083-921-2751 FAX：083-941-6245



有機・無農薬にこだわるきっかけ

長門市出身。元々建設業を営んでおり、近所の方から畑の管理の依頼を受け、家庭菜園のような形で農業を始めました。その後、現在の山口市平川に移転し、平成16年4月に中村自然農園として本格的に農業経営を始めました。最初は家族3人でしたが、現在は農業研修生と、山口大学の学生アルバイトの皆さんに手伝ってもらいながら経営しています。

当園は、有機・無農薬の野菜を約70種類生産・販売しています。私が有機・無農薬にこだわるきっかけは、長門市に居住時、地域のボランティア活動で、安全な魚を食べる為に、微生物を使った河川浄化をしたことでした。現在の畑の土づくりに、この微生物の使用経験が活かされています。

食の安心・安全への関心の高まり

有機・無農薬の野菜は、価格面だけを見ると、一般の野菜に比べ高く、流通量も少ないため、実際に食卓に並ぶ場面はまだ少ないのが現状です。しかし、最近では食の安心・安全への関心が高まっており、潜在的な需要は計り知れない程多いのではないのでしょうか。有機・無農薬の野菜が身体にとって良いという事は、多くの方が知っていると思いますが、本当に食



キャベツ、サニーレタス、人参などが植えられている

の安心・安全を考えるのであれば、価格だけで判断するのではなく、その食物に含まれる栄養や農薬の使用量についてまで勉強して購入すべきだと思います。



採れたての野菜

小規模農家が経営していく為には

一般的な野菜は、一つの販売単価が安く、利益も少ないので、ある程度の規模の農園を整備し、大量生産・大量販売をするのが理想ですが、個人経営の農家には難しいことです。そこで、私たちは、中村自然農園のファンを増やし経営を続けていく為、有機・無農薬という高付加価値を付けるとともに、生産方法の問い合わせに丁寧に対応したり、商品におすすめのレシピを添えて送ったりしています。小規模農家では利益を生み出すことが難しいですが、まだまだ試行錯誤でできと思っています。

広報力の強化と販路開拓

更に有機・無農薬の野菜を広めたいという思いで、商工会議所に相談し、ネットショップを併設したホームページを作成しました。専門家派遣事業を利用し、専門家のアドバイスを受けたので、スムーズに立ち上げることができました。その後、更なる販路開拓を目指し、「ビジ

ネスドラフトやまぐち」(※)に参加しました。ネットショップの影響もあり、県外での販売数は増加しましたが、地産地消を進め、定期購入が見込める地元の販売率を上げたかったので、県内の事業所と商談できる「ビジネスドラフトやまぐち」は、私の思いに合致しました。商談会では、今まで接点を持てなかった旅館や飲食店の担当者の方と直接話ができて、人脈を増やすとともに、今後の取引につなげることができました。

研修生の独立支援

お陰さまで新規・リピート購入の方が増え、今では野菜の生産量が追いつかず、ネットショップの更新を止めています。再開する為に必要な生産量を確保できるよう、組織体制を整備中です。現在、農業研修生を1人受け入れています。今後1年以内に新たに2人受け入れる予定で、生産技術を伝えるとともに、独立を見据えた営業や経営管理手法についても学んでもらい、ゆくゆくは全国に有機・無農薬野菜を広めていってほしいものです。

中村自然農園

代表：中村進卓

事業内容：有機・無農薬の野菜の生産販売

URL：<http://shop-yamaguchi.com/nakamura/>

※「ビジネスドラフトやまぐち」とは山口県内の商工会議所会員事業所を対象とした、販路開拓や事業提携、技術支援等、新たな企業との完全予約型商談会。今年度も来年2月2日(火)・3日(水)に開催予定です。